

平成28年度 第1学期始業式式辞

おはようございます。

本校は、昨年度、開校から3年の完成年度が終了し、新たに4年目のスタートを切りました。

さて、昨年度、中学校の校長先生、地域の方々と話す機会がありましたが、本校は、生徒が非常に落ち着いた学校生活を送るとともに、部活動やボランティア活動等で多くの成果をあげているとの評価をいただいています。

私は、4年目のスタートを切るにあたり、さらに生徒の皆さんに伸びて欲しいと思っています。

皆さんがもっともっと伸びるための課題は何かを考えましたが、昨年12月実施の生徒アンケート結果を見てみると、

①チャイムで授業が始められるよう準備をしているか。

毎時間準備 30.3%、だいたい準備 58.5%、合計 88.8%

②授業中、意欲的に取り組んでいるか。

毎時間取組 17.4%、だいたい取組 69.9%、合計 87.3%

③あいさつをきちんとしていますか。

きちんとしている 54.3%、

だいたいきちんとしている 38.5%、合計 92.8%

④あなたは校内美化（ゴミの分別、清掃活動）に努めていますか。

努めている 23.2%

どちらかと言えば努めている 52.6% 合計 75.8%

「だいたい取り組んでいる」割合を入れれば、各項目でほぼ80%を超えていて、昨年度までの私は校長として満足してしまし

た。

しかし、今、私は大いに反省しています。私は皆さん謝りたい。それは、皆さんのことを過小評価（実際よりも低く見る）していました。4年目を迎えた今年度は目指すところを高く設定したいと思います。

なぜそう思ったのかというと、本校の生徒は、本気でやる気になったとき、大変大きな力を発揮することが証明されたからです。

それは、例えば、この3月に卒業した卒業生の、

3カ年皆勤者が49名、

3カ年精勤者が18名、合計67名（卒業生218名）で、卒業生の31%が3年間1日も休まず登校したことです。

また、昨年度の2年7組と1年6組の昨年1年間の皆勤者は、

2年7組は21名（56.8%）

1年6組は28名（73.7%）

という大変すばらしい成果を残しました。

こうしたことから、「皆さんは、本気でやればできるんだ。」

もう一度言います。「皆さんは、本気でやればできるんだ。」

そこで、本年度は、これから言うこと、高校生活の基礎基本になることを「皆さんに本気でやってほしい」のです。

それは、「時を守り、場を清め、礼を正す。」ということです。

「時を守り、場を清め、礼を正す。」の「時を守り」とは、時間を守ること。

生活にメリハリをつけることや相手を尊重することにつながる。

「時を守り、場を清め、礼を正す。」の「場を清め」とは、清掃すること、整理整頓すること。

清掃が行き届いた、きれいな環境は大切。

また、清掃は、気配りや心をみがくことにつながる。

「時を守り、場を清め、礼を正す。」の「礼を正す」とは、挨拶すること。

挨拶は心を開き、社会に出てからも不可欠なコミュニケーションにつながる。あたり前のことだが、身に付けていなければならぬ基礎基本です。この基礎基本を身に付けずして、「学力向上」や「競技力向上」も達成できません。

4月1日には、先生方にも「時を守り、場を清め、礼を正す。」の指導の徹底をお願いしました。

「時を守り」では、授業はチャイムトゥチャイムで行うことは、基本中の基本であるが、全生徒が徹底して実践していない。

「場を清め」では、教室や黒板が汚かったり、廊下のロッカーの上に教科書やプリント等が散乱していたり、トイレが汚かったり、駐輪場にペットボトルや缶が投げ捨ててあったりしている。特に雨の日にはバックにかぶせていたビニール袋が散乱している。

「礼を正す」では、部活単位では大きな声で礼儀正しく挨拶できるけれど、一人になって廊下等であった時には挨拶ができないなどがある。

この1年間「チームふじみ野」として皆さん全員が意識を高く持ち「時を守り、場を清め、礼を正す。」を徹底して、本校をさらに発展させていきましょう。

結びに、本日、241名の新入生が本校に入学します。何も分からない新入生に声かけ、親切に教えるとともに、「時を守り、場を清め、礼を正す。」について、皆さんの行動を通して模範を

示しながら、1年生の面倒をみてください。